

科目名: 経営戦略論		科目コード	EA45
科目主査: 松本 久良		単位	2
担当講師: 岩本 健一、木村 栄宏、小林 久司、 齊藤 保昭、田中 秀一、中村 光延、 松本 久良、溝井 伸彰、吉澤 郁雄		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>経営戦略は、あらゆる企業で策定されており、企業がさらなる発展・成長を実現するには、すべての組織メンバーが経営戦略の枠組みを共有することが重要です。本科目では、経営戦略が企業経営上どのような意義をもつのかを理解するとともに、具体的な事例に触れながら戦略を概説し、戦略的発想をもって実践に取り組める知識・スキルを修得します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問できるようにしておいてください。経営学の基本的な知識や、経営組織、経営管理などについて学習しておくとう理解が深まるでしょう。		
テキスト	『ストラテジー・エッセンス』日沖 健, 産業能率大学, 2016年		
この科目の到達目標	<p>①テキストで学習する経営戦略の基本的な考え方やキーワードについて理解し、それらについて概略を説明することができる。 ②企業の実際の動きと照らし合わせながら、各企業の経営戦略の基本を推察し、意見を述べることができる。</p>		
成績評価の方法	「出席状況(提出課題を含む)」30%、「最終試験」70%とします。詳細は下記を参照してください。また、授業時の担当教員からの説明に従ってください。		
事後学習	経営環境が不透明さを増す中で、生き残りのカギとして経営戦略の役割はますます大きくなっています。企業のあらゆる活動は戦略に基づいていると言えますし、それはひとつひとつの製品やサービスにも反映されているはずで。今回修得した知識を活用して、それらの背後にどのような戦略があるのかを自分なりに考えるという取り組みを継続してください。		
事後学習の参考文献	『経営戦略』(第3版) 大滝・金井・山田・岩田,有斐閣アルマ,2016年 『経営戦略の論理』(第4版) 伊丹 敬之,日本経済新聞出版社,2012年 『1からの戦略論』(第2版) 嶋口・内田・黒岩,碩学舎,2016年		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具		